

樂世界、功德莊嚴等無差別。於其国中有二菩薩摩訶薩。一名日光遍照、二名月光遍照。是彼無量無數菩薩衆之上首、悉能持彼世尊藥師琉璃光如來正法宝藏……」

これは、覚えていないのか……清姫は、眼の前の岩の上で、少年のような身体を仰向けにして寝ている。脚だけが、水につかって、清姫の身体を揺らしている。いかにも、気持ち良さそうだ……。

滝尻をお参りする巡礼者達が、清姫の身体を眺めていくのがわかる……。しかし、こうして、人目に裸を晒していても、清姫は、恥ずかしいという感情は抱いていないらしい……。

思春期を、まだ迎えていないという事だろう……あるいは、毎日のお努めで、水の中に入るのが習慣になっているからかもしれない。けれど、たぶん……それは、清姫の肢体があんまり美しいからではないか……と安珍は思う。

仕事柄……安珍は、美しいものを幾つも見ている。

安珍は、経を唱えながら、昔、奈良の薬師寺で見た日光・月光菩薩像を想い出していた……。清姫の身体は、あの菩薩像に少し似ている……。しかし、それとは、比較にならない程、美しい……。

それは、清楚で神聖な美しさだ……。もし、目の前に、本物の菩薩や観音が現れたなら、きっと、このような姿をしているのではないか……。

「オン コロコロ センダリ マトウギ ソワカ」

心の中で、安珍は、清姫に向かって、薬師の真言を唱えている。

